

Housing Model Room



リアルな生活を コーディネートした 新発想のときめきモデルハウス

子供の成長を「導く」ことをテーマとしたモデルハウス「子ども導線採用の家」は、片付けや勉強をする習慣が自然と身に付くよう設計・配置された「ただいま収納シリーズ」という造作家具[1]が特徴的です。そこに子どもの勉強机としても使える、当社オリジナルの「dia scenes」のダイニングセットをレイアウトし、リアリティを表現するため手作りした小物もちりばめました[2]。デザインに特化したコーディネートではなく、子育てというライフステージに立脚したリアルなコーディネートが魅力です。

物件名：青山展示場

依頼主：株式会社ハウスM21 様

所在地：岩手県盛岡市

完成：2016年5月

担当者：東北支店 盛岡営業所
加藤 崇

〈インテリアコーディネート〉
東北支店 盛岡営業所 住環境営業課
高橋 淳子

※ 担当者の所属については2017年3月31日時点のものです。
一部、部署・役職等を省略しています。

 インテリアアイテム

